

施策評価シート

対象事業年度 令和 2 年度

重点施策3・施策4

政策	Ⅲ 環境にやさしく、夢・うらおいにぎわいのある親しまれる港づくり	施策推進 責任者	企画調整室長・総務部長・港営部長・建設部長
施策	4 うらおいと魅力のある港湾空間の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者など名古屋港に集うあらゆる人びと	意図(どういう状態にしたいのか)	※シート中、「感染症」とあるのは、すべて「新型コロナウイルス感染症」を指します。 ガーデンふ頭イベント開催等により港湾空間の更なるにぎわいや魅力を創出するとともに、名古屋港水族館などのにぎわい施設を活用し、ときめきとやすらぎを感じ、親しまれ、みんなの夢がふくらむ港
	サービスの対象物(何を)	親しまれる施設(集客施設・運河など)やイベントなど		
展開	ふれあい・交流拠点であるガーデンふ頭において、海の日名古屋みなと祭や船舶の一般公開等、年間を通じて様々なイベントを開催・支援するとともに、SNS等によるタイムリーな情報発信により、名古屋港の魅力向上・拡散の取組をすすめます。また、ガーデンふ頭の名古屋港水族館や、新舞子マリンパーク、富浜緑地の運動施設等の観光にぎわい施設を最大限に活用し、港のにぎわいを継続的に創出します。 中川運河において、沿岸用地へのにぎわい施設の誘導や、水循環による水質の改善など、運河再生に取り組むとともに、歴史資産、観光拠点をめぐる海上交通ネットワークの形成をすすめる、都心部のにぎわいを港に誘導します。 港のにぎわい創出や観光振興、地域経済の活性化等を目的として設立された「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」を通じ、クルーズ船社等へのセールスやクルーズ船寄港時の歓迎行事・観光案内を行う等、クルーズ船寄港増加に向けた取組をすすめます。 クルーズ船の受入れについては、旅客の利便性や安全性の確保を最優先に考え、より一層受入れ環境の充実・改善に取り組みます。 (重点施策3) ガーデンふ頭では、「多くの人々を呼び込むにぎわいの創出」、「人々が長くふ頭に滞在できるくつろぎの場の提供」を基本方針として、民間事業者の資金とノウハウをいかした取組をすすめます。また、中川運河にぎわいゾーンの魅力向上に向けて、覆砂による底層環境の改善や水循環による水質改善などに取り組み、人々が水辺に親しむ機会の創出に努めます。			

2. Do(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

(1) 重点施策3

		※平成30年度の成果目標値及び実績値は「政策体系2018」の数値を参考として記載しています。									
コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	30年度	元年度	2年度	目標値 (5年度)	2年度の 状況	3年度以降の方向性		2年度実施事業に基づく評価結果 ・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等	
			上段:成果目標 目標値	中段:成果目標 実績値	下段:事業費(単年度・人件費込・国費除く)			成果	コスト		
重施 03 事01	ガーデンふ頭再開発の推進 (総合開発課)	ガーデンふ頭再開発の進捗 状況(全3工程) 【進行管理型】	1工程	1工程	1工程	3工程	順調	継続	維持	維持	令和2年度の状況は、工程通りのため「順調」としましたが、感染症の影響により、再開の民間事業環境は厳しい状況下にあることから、ふ頭全体の一体開発に限らず事業化の見直しを探っています。 方向性を判断した理由は、交流拠点であるガーデンふ頭において、集客力強化や機能向上などを図ることで、みなとの一層のにぎわいや魅力の創出に向けた再開を推進する必要があります。
			1工程	1工程	1工程				5年度	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。	
			59,303千円	54,027千円	45,012千円						
重施 03 事02	中川運河にぎわいゾーンの魅力向上 (金城・中川・南5区担当、環境担当)	中川運河覆砂進捗状況(全4 工程) 【進行管理型】	1工程	1工程	2工程	4工程	順調	継続	維持	維持	中川運河にぎわいゾーンにおいて、人々が水辺に親しむ機会の創出に努めることで魅力を向上させ、にぎわいや魅力の創出に向けた中川運河の再生を図る必要があるため。
			1工程	1工程	2工程				5年度	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。	
			65,815千円	213,792千円	205,793千円						

(2) 施策4

施04 事01	名古屋港のPR (広報・にぎわい振興担当)	Facebook及びInstagramページ投稿へのいいね等の数 【単年度管理型】	8,000件	17,000件	23,000件	26,000件	目標 値をや や下 回る	継続	維持	縮小	令和2年度の状況は、初めてInstagramフォトコンテストの実施などに取り組んだものの、感染症の影響により各種イベントが中止となったため「目標値をやや下回る」となりました。 方向性を判断した理由は、令和3年度の「海の日名古屋みなと祭」は開催中止となりコストを「縮小」としましたが、名古屋港への関心を高め、理解が深まるよう、引き続き取り組む必要があるため。 なお、成果については、引き続き目標達成を目指すことから「維持」とします。
			17,060件	22,900件	21,881件				資源(財・人)の投入を減らしながら、取組を継続し、成果を維持する必要があります。		
			149,539千円	145,858千円	114,172千円						
施04 事02	名古屋港水族館の振興 (水族館事業担当)	入館者数 【単年度管理型】	221万人	220万人	220万人	230万人	目標 値を下 回る	継続	拡大	拡大	海洋文化の普及については継続して実施する必要があります。 web等の活用により海洋文化の普及に努めるとともに、イベントの開催、積極的なPR活動に取り組み、大幅に減少した入館者数を回復する必要があるため「拡大」とします。 コストは、経費削減を行います。感染症の影響により利用料金収入が減少する見込みであり、令和2年度に引き続き、指定管理料の支出が必要であるため「拡大」とします。 なお、令和3年度の指定管理料支出額は2年度に比べ減少が予想されます。
			211万人	200万人	92万人				資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。		
			776,990千円	937,896千円	1,169,793千円						
施04 事03	金城ふ頭における円滑な交流拠点 開発の推進 (金城・中川・南5区担当)	港湾関係者等の意見に対応 した割合 【単年度管理型】	100%	100%	100%	100%	目標 値どお り	継続	維持	維持	金城ふ頭は港湾物流の拠点でもあることから、引き続き、物流機能との共存を図りながら交流拠点開発を推進し、うらおいと魅力のある港湾空間を形成する必要があります。
			100%	100%	100%				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			13,829千円	11,926千円	11,926千円						
施04 事04	魅力ある港湾景観の形成 (環境担当)	カラー計画マニュアルとの整合 性率 【単年度管理型】	100%	100%	100%	100%	目標 値を下 回る	継続	維持	維持	令和2年度の状況は、協力を得られなかった事業者もあったため「目標値を下回る」となりました。 方向性を判断した理由は、引き続き、魅力ある景観づくりに取り組んでいく必要があるため。 なお、成果については、事業者による協力によることから「維持」とし、コストも「維持」とします。
			88%	100%	54%				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			2,836千円	3,698千円	3,679千円						
施04 事05	名古屋港ポートビルの管理・運営 (関連事業担当)	入館者数 【単年度管理型】	46万人	46万人	46万人	48万人	目標 値を下 回る	継続	拡大	拡大	海事に関する知識の普及については継続して実施する必要があります。 成果は、感染症の影響を受ける中で、前年度実績から大幅に減少した入館者数を回復する必要があります。また、webの活用や、経費の削減等に取り組む、より効率的に海事に関する知識の普及を図る必要があることから「拡大」とします。 コストは、経費削減を行います。感染症の影響により利用料金収入が減少する見込みであり、令和2年度に引き続き、指定管理料の支出が必要であるため「拡大」とします。
			46万人	45万人	15万人				資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。		
			65,942千円	152,789千円	112,870千円						
施04 事06	名古屋港湾会館の管理・運営 (関連事業担当)	会議室の利用率 【単年度管理型】	33%	33%	33%	35%	目標 値を下 回る	継続	拡大	拡大	港湾関係者を始めとした利用者に会議室の提供を継続する必要があります。 成果は、経費削減に取り組むとともに、感染症の影響を受ける中で、前年度実績から大幅に減少した利用率を回復する必要があることから、「拡大」とします。 コストは、感染症の拡大防止を理由とするキャンセルに伴い利用料金収入が減少する見込みであり、令和2年度に引き続き、指定管理料の増額が必要であるため「拡大」とします。
			33%	32%	21%				資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。		
			35,389千円	69,803千円	75,973千円						
施04 事07	臨港緑地の管理・運営 (関連事業担当)	利用者数 【単年度管理型】	41.7万人	56.2万人	56.8万人	58万人	目標 値を上 回る	継続	維持	維持	港湾の緑地の整備運営は、港湾管理者の責務であるため。 また、運動施設・緑地等の管理・運営により、港の賑わいと憩いの空間の創出に繋げるため、また、目標値は達成しているため成果・コストは「維持」とします。
			52万人	53万人	58万人				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			362,320千円	539,200千円	378,283千円						
施04 事08	中川運河緑地(堀止地区)整備事業 (事業推進課)	整備面積 【進行管理型】	0.83ha	0.84ha	0.86ha	1.1ha	順調	継続	維持	維持	人びとが港の雰囲気を楽しむことのできる水辺空間を整備し、地域環境の向上を図る必要があるため。
			0.83ha	0.84ha	0.86ha				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			24,333千円	14,764千円	27,996千円						
施04 事09	中川運河水質改善事業 (事業推進課)	事業の進捗状況(全7工程) 【進行管理型】	4工程	4工程	4工程	7工程	順調	延伸	維持	維持	現場不一致等により工程の見直しが必要となり、事業延伸が必要となったため。 ※今回の評価にて事業完了年度を延伸(令和4年度→令和5年度)
			4工程	4工程	4工程				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			36,515千円	14,009千円	99,113千円						
施04 事10	海上交通ネットワークの形成 (金城・中川・南5区担当)	金城ふ頭小型桟橋整備の進 捗状況(全4工程) 【進行管理型】	1工程	2工程	3工程	4工程	順調	継続	維持	維持	利便性の向上を図りながら海上交通ネットワークの形成をすすめる、うらおいと魅力のある港湾空間を形成する必要があります。
			1工程	2工程	3工程				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			19,138千円	43,209千円	44,147千円						
施04 事11	クルーズ船誘致の推進 (誘致推進課)	情報発信数 【単年度管理型】	21件	10件	15件	40件	目標 値を下 回る	継続	維持	維持	令和2年度の状況は、感染症の影響により国際クルーズ船が再開されなかったことにより情報発信数は目標に及ばなかったため「目標値を下回る」となりました。 方向性を判断した理由は、感染症の影響により、令和3年度の外国船社等への海外ポートセールスの実施は困難であるが、港のにぎわいを創出すべくクルーズ船誘致を進める必要があるため。 なお、成果については、引き続き目標達成を目指すことから「維持」とし、コストも「維持」とします。
			97,495千円	18,732千円	17,982千円				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
施04 事12	クルーズ船乗客の安全で円滑な受 入対応 (誘致推進課)	受入対応に起因する事故件 数 【単年度管理型】	0件	0件	0件	0件	目標 値どお り	継続	維持	拡大	クルーズ船の安全・安心な受入を実現するために策定した「名古屋港におけるクルーズ船受入の際の感染拡大予防マニュアル」に基づき、感染症対策の費用が新たに必要となるためコストは「拡大」とし、より安全で円滑な受入れに努めていきます。 なお、成果は事故を0件とすることから「維持」とします。
			0件	0件	0件				資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、適切な成果の状況を維持する。		
			26,951千円	19,570千円							
施04 事13	ガーデンふ頭地区屋根付き通路整 備事業 (事業推進課)	事業進捗率 【進行管理型】	8.0%	43.0%	100%	100%	目標 値どお り	完了	維持	維持	屋根付き通路の設置が完了し、雨天時の通行環境を改善するとともに、車両動線と区画し通行時のクルーズ船乗客の安全性を高めました。
			8.0%	43.0%	100%				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			10,500千円	46,256千円	60,129千円						

施策コスト(合計)	1,570,405千円	2,292,910千円	2,386,438千円
-----------	-------------	-------------	-------------

3. CHECK(成果目標の状況・2年度を取組内容など)

施策 成果目標	実績等		30年度	元年度	2年度	目標値 [5年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
	目標値	人	830万	754万	756万	800万	
交流施設の来場者数	実績	人	738万	714万	320万		・令和2年度の交流施設の来場者数は、令和元年度の実績及び令和2年度の目標値に比べて大きく下回りました。これは、感染症拡大防止のため、施設が臨時休業を行ったことや人々の外出自粛による影響が要因と考えられます。
	(仮目標値)*	隻	40	45	50	60注	
クルーズ船入港隻数	実績	隻	44	26	7		・令和2年度のクルーズ船入港隻数は、感染症の影響により、国内クルーズ船7隻の受入にとどまったことから目標値を下回りました。 ・「交流施設の来場者数」について、感染症の影響を見極めながら、令和3年度中に新たな目標値を設定します。 ・「クルーズ船入港隻数」について、クルーズ船事業者の動向を注視しながら、諸条件が整い次第、見直しも含めて検討します。

注:クルーズ船入港隻数は、4年度を目標年度としています。

$$\text{仮目標値} = \text{初期値(30年)} + \frac{\text{目標値(4年)} - \text{初期値(30年)}}{4\text{年間}} \times 30\text{年からの経過年数}$$

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)	
適正・見直しが必要	<ul style="list-style-type: none"> 「ガーデンふ頭再開発の推進」について、感染症の影響による社会経済情勢の動向やガーデンふ頭のにぎわいの回復状況を注視し、事業化の見直しを探る中で、諸条件が整い次第、成果目標について見直しも含めて検討します。 名古屋港水族館について、今後20年間を見据えた中長期計画策定に伴う新たな事務事業の検討を行う必要があります。 「名古屋港水族館の振興」、「名古屋港ポートビルの管理・運営」について、引き続き感染症の影響を見極めながら、令和3年度中に新たな目標値を設定します。

4. ACTION(課題・3年度以降の取組方針)

(1)重点施策3

2年度に取り組んだ内容
重施03事01 ガーデンふ頭再開発の推進 社会経済情勢の動向やガーデンふ頭のにぎわいの回復状況を注視し、事業化の見直しを探りながら、開発エリアの確保に向けた港湾業務機能の移転のための関係者との調整、国有港湾施設の取得に向けた国との調整、既存施設の利活用の検討など、再開発の基本的な内容の具体化に取り組みました。
重施03事02 中川運河にぎわいゾーンの魅力向上 老朽化した護岸の改良・補修を実施するとともに、プロムナード整備に向け実施設計を行いました。また、東支線では、運河をながめられる視点場整備の工事の契約を締結するとともに、底層改善に向け覆砂の実施設計を行いました。

(2)施策4

施04事01 名古屋港のPR 「冬のイベント」開催への協力、印刷物「Port of Nagoya」「要覧」「ようこそなごやこうへ」「わたしたちの名古屋港」の発行を行うとともに、広報番組「What's 名古屋港」(3回)・広報紙「広報なごや港」(4回)・新聞広告(14回)の製作、ホームページ及びSNS (Facebook、Instagram)の運営・Instagramフォトコンテストの開催、「みなと体験ツアー」(4回)・PRイベントの実施や民間活力による花火イベントの調整協力を行いました。帆船・汽船の誘致・一般公開及び「海の日名古屋みなと祭」開催への協力は、感染症の影響により実施できませんでした。
施04事02 名古屋港水族館の振興 感染症拡大防止対策として4/1～5/24まで臨時休館し、再開後は、来館者の検温実施、館内に消毒用アルコールを設置等とともに、密集対策として、混雑状況をリアルタイムで把握し対応できるよう、新たにカメラを設置しました。また、夏休み期間中(7/13～8/31)は、密集対策及び熱中症対策として、事前予約制を導入しました。臨時休館等影響を受け、利用料金収入が減少し、施設の維持に必要な経費が不足したため、指定管理料を支出しました。水処理施設や電気設備の補修など、優先順位を定め維持補修を行いました。営業再開後は段階的にイベントを再開するとともに、時間外利用事業や、クラウドファンディングなどの取組を実施しました。
施04事03 金城ふ頭における円滑な交流拠点開発の推進 国際展示場新第1展示館及びコンベンション施設整備の工事について、港湾関係者へ工事の概要説明や月間工程を送付するとともに、大規模イベント時における交通対策等について、名古屋市と連携し、港湾関係者の意見を踏まえながら調整を行いました。
施04事04 魅力ある港湾景観の形成 名古屋港カラー計画について13件の審査を行い、景観アドバイザー制度について1件の相談を受けました。また、歴史資源4施設の維持管理マニュアルを作成しました。名港トリトンのライトアップの今後のあり方を検討するとともに、既存ライトアップ設備の維持補修を行いました。
施04事05 名古屋港ポートビルの管理・運営 感染症拡大防止対策として4/1～5/24まで臨時休館し、再開後は、消毒用アルコールを設置する等、感染症拡大防止策を実施しました。臨時休館等影響を受け、利用料金収入が減少し、施設の維持に必要な経費が不足したため、指定管理料を支出しました。海洋博物館においては企画展「名古屋海洋博物館のお宝展」、「ボトルシップ展」、「ペーパークラフト教室」を開催する等、海事に関する企画・展示を行い、施設を良好に管理しました。また、facebookを活用して、名古屋港ポートビル及び南極観測船ふじの魅力を広く発信するとともに、youtubeで海洋博物館の紹介動画を見ることができるようになりました。
施04事06 名古屋港水族館の管理・運営 感染症拡大防止対策として4/17～5/18まで臨時休館し、再開後は、消毒用アルコールを設置する等、感染症拡大防止策を実施しました。感染症の拡大防止を理由とするキャンセルに伴う利用料金の減収分等について、指定管理料を増額しました。会議室の利用促進に努め、1570件の利用がありました。
施04事07 臨港緑地の管理・運営 感染症拡大防止対策として4月から5月の一定期間、施設を休止しました。再開後は屋内施設に消毒用アルコールを設置する等の感染症防止対策を実施し、臨港緑地の提供及び施設の良い管理を行いながら、安全に利用できるように努めました。
施04事08 中川運河緑地(堀止地区)整備事業 水辺一体の緑地整備として、通路舗装、整地、照明等を行いました。
施04事09 中川運河水質改善事業 松重ポンプ所の改修(排水管の設置)を行いました。
施04事10 海上交通ネットワークの形成 海上交通ネットワークの形成をすすめるため、利便性の向上に向け金城ふ頭小型桟橋の実施設計を行いました。なお、中川運河における水上交通の運航は、感染症拡大防止のため、令和2年2月29日から6月5日まで運休しました。
施04事11 クルーズ船誘致の推進 ホームページで、国内クルーズ船受入再開に向け本組合が策定した「名古屋港におけるクルーズ船受入の際の感染拡大予防マニュアル」、国等によるガイドライン、船会社の感染症対策や取組等の情報を発信しました。
施04事12 クルーズ船乗客の安全で円滑な受入対応 国等より発表された感染症に関する港湾のガイドラインを基に「名古屋港におけるクルーズ船受入の際の感染拡大予防マニュアル」を策定し、国内クルーズ船の本港への寄港は11月に再開されました。クルーズ船入港の際の受入側の検温や発熱等の症状がある乗客を隔離するためのテントの設置など、感染症対策をクルーズ運航船社・関係機関と連携して適切に行いました。
施04事13 ガーデンふ頭地区屋根付き通路整備事業 屋根付き通路を設置しました。

課題	3年度以降の取組方針
再開発の推進に際しては、感染症の影響を注視していく必要があります。また、民間事業者との意見交換を重ねながら事業化の見直しを探っていく必要があるとともに、開発エリアの確保に向けて関係者との調整を進めていく必要があります。	引き続き、感染症の影響による社会経済情勢の動向やガーデンふ頭のにぎわいの回復状況を注視し、民間事業者との意見交換を継続しながら、ふ頭全体の一体開発に限らず事業化の見直しを探っていくとともに、開発エリアの確保に向けた関係者との調整を進めるなど、再開発の基本的な内容の具体化に取り組みます。
護岸の改良・補修、プロムナード及び視点場の整備、覆砂の円滑な実施に向け、地域の理解を得ながら行っていく必要があります。	地域の理解を得ながら、老朽化した護岸の改良・補修、プロムナード及び視点場の整備、覆砂に取り組みます。

利用者にとって、わかりやすく伝わりやすい情報発信とするための工夫や方法、利用者ニーズへの柔軟な対応が必要です。また、感染症の状況を踏まえ、イベント開催の可否を判断するとともに、イベント開催時における感染症の感染防止対策の実施が必要です。	情報発信の強化や、更なる効果的なPRを行っていくため、多様なニーズの把握に努めるとともに、それらに対する的確な情報発信の工夫を図っていきます。また、感染症の状況に応じ感染防止対策を適切に実施し、にぎわい創出に取り組んでいきます。なお、成果については、感染症対策をしつつ実績値の向上を目指していきます。
来館者が安全・安心に観覧できるよう、引き続き、感染症の拡大防止対策を継続していく必要があります。コロナ禍においての入館者数の回復策や入館料以外の収入の確保に向けて財団と連携して検討していくとともに、経費削減に取り組んでいく必要があります。また、感染症の影響により来館することができない人に対しても、海洋文化の普及や水族館のPRを実施していく必要があります。施設の老朽化に伴い年々維持管理費が増加しているため、財政負担の縮減及び平準化を図る方策を検討する必要があります。	感染症の拡大防止対策を引き続き実施します。入館者数増加、収入増加及び経費削減の方策を図るとともに、引き続き、web等を活用し海洋文化の普及を図っていきます。感染症を原因とする収支不足については指定管理料を支出します。
交流拠点開発は、物流機能への影響がないよう進めていく必要があります。	物流機能と共存した交流拠点開発について、名古屋市や関係部署と連携し、国際展示場関連の工事や大規模イベント時の交通対策について、港湾関係者の意見を踏まえながら調整を行っていきます。
引き続き新たな建築物等について、カラー計画との整合が図られるよう事業者の説明していく必要があります。また、カラー計画マニュアルや景観基本計画については、事業者の協力が得られるよう、成果や課題を分析するなど、計画内容の検証をする必要があります。国の登録有形文化財である歴史資源の維持管理方法について、関係機関と調整を図りつつ検討する必要があります。また、名港トリトンのライトアップの今後のあり方について、関係者と検討していく必要があります。	事業者が新築・改築の手続きを行う際、カラー計画を認識する機会を増やすよう、検討・調整を進めていきます。カラー計画マニュアルや景観基本計画について、計画内容の検証を行います。また、国の登録有形文化財である歴史資源の維持管理マニュアルの作成を進めていきます。また、名港トリトンのライトアップのあり方について引き続き関係者で検討を重ねます。
来館者が安全・安心に観覧できるよう、引き続き、感染症の拡大防止対策を継続していく必要があります。また、引き続き、webを活用し、名古屋港ポートビル及び南極観測船ふじの魅力を、広く発信するとともに、経費の削減についても取り組めます。感染症を原因とする収支不足については指定管理料を支出します。	感染症の拡大防止対策を引き続き実施します。また、引き続き、webを活用し、名古屋港ポートビル及び南極観測船ふじの魅力を、広く発信するとともに、経費の削減についても取り組めます。感染症を原因とする収支不足については指定管理料を支出します。
安全・安心に利用できるよう、引き続き、感染症の拡大防止対策を継続していく必要があります。また、経費削減に取り組むとともに、コロナ禍においての利用率の向上に向けた周知や、営業等に取り組む必要があります。	感染症の拡大防止対策を引き続き実施します。また、施設の良好な維持管理、高質な利用者サービスの提供に努めます。感染症の拡大防止を理由とするキャンセルに伴う減収分等については、指定管理料を増額します。
効率的な施設の維持管理に努めるとともに、安心して利用してもらえるよう、感染症の拡大防止対策を継続する必要があります。	施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスの提供及び感染症の拡大防止対策に努めます。
名古屋市関連事業と調整を図りながら一体的な緑地整備を進める必要があります。	名古屋市関連事業と連携して、引き続き、親水緑地の整備を進めていきます。
中川運河水質改善施策を推進するためには、関係者とのさまざまな調整が必要です。	関係者調整を行いながら、着実に事業を進めていきます。
海上交通ネットワークの形成に際しては、利便性を向上していく必要があります。また、水上交通の誘導をすすめる名古屋港と連携・調整していく必要があります。	海上交通ネットワークの形成をすすめるため、利便性の向上に向け金城ふ頭小型桟橋の整備を令和3年度から着手します。また、水上交通の誘導をすすめる名古屋市と連携・調整していきます。
外航クルーズ船の運航再開にあたり国等のガイドラインに基づき本組合の受入マニュアルを策定するとともに、外航クルーズ船に係る本組合、国、船社の安全・安心の取組を広く発信する必要があります。	国内クルーズ船について、引き続き本組合、国、船社の安全・安心の取組を広く県民・市民に対し情報発信していくとともに、外航クルーズ船についても同様の対応を行っていきます。また、船社に対してはこの地域の観光地の情報提供を行い名古屋港へのクルーズ船誘致を行うとともに、感染症の状況を注視しつつクルーズ需要喚起に向けた情報発信にも取り組んでいきます。なお、成果については、感染症対策をしつつ実績値の向上を目指していきます。
外航クルーズ船は、税関・出入国管理・検疫が必要となり、対人距離確保のため従来よりも広いスペースが必要となるため、運航再開にあたっては国等のガイドラインに基づく適切な会場運営が求められます。また、外航クルーズ船は感染が拡大した場合、停泊が長期化し物流への影響が懸念されます。	国内クルーズ船の受入対応の継続に加え、外航クルーズ船の運航再開に備え、クルーズ船運航船社や関係官庁等と連携し、適切な会場設営、警備員の配置、感染拡大予防措置等について検討・実施します。また、外航クルーズ船は感染が拡大した場合、乗客数が多いことから停泊が長期化し物流への影響も懸念されることから、港湾関係者と連携し対応を検討します。